# 事務事業チェックシート

事務事業No 事業名

### 姉妹都市交流事業(高等学校) 715 [長期総合計画] 子供たちがいきいきと育つまち 分野別目標 社会を生き抜く子供たちの学力の育成 政 策 国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進 施 策 2 国際化・情報化に対応した教育の推進 取組方針

### [事業基本情報]

[ 4. /Kgp.   .    1		
事業区分(1)	事業経費	管理経費
事来四月(1)	その他	
事業区分(2)	自治事務	法定受託事務
サ 来 匹 力 (2)	その他	
	会計	一般会計
	款	教育費
会計・	項	高等学校費
予算区分	目	学校管理費
	大事業	高等学校管理事業
	中事業	姉妹都市交流事業(高等学校)

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	~	無し	担当課・担当課長・Tel	市立和歌山高等学校	栂野 作治	341-3690
事業実施の根拠法令				関連課			

1	事業内容									
	(「誰・何」をどう	ういう状態にするための事業	か)	全体事業概要						
事業目的	生徒の国際化を図るため			和歌山市国際多	<b>炎流活動の一環である姉妹都市</b>	交流事業を通して本校の生徒の	国際化を図るための事業			
事業内容		平成30年度	平成3 海外姉妹都市で ッチモンド市の		令和02年度 海外姉妹都市であるカナダリ ッチモンド市の学生との交流	令和03年度 海外姉妹都市であるカナダリ ッチモンド市の学生との交流	令和04年度 海外姉妹都市であるカナダリ ッチモンド市の学生との交流			

2 事業コス	事業費等 (千円)		0年度	平成3	平成31年度		令和02年度		3年度	令和04年度	
尹未3	(一口)	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
	事業費	0	0	98	68	0	0	87	0	0	0
伸で	ド率(%)	0%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%	0%	△100%	0%
	正規職員	0	0	2,014	2,014	0	0	1,673	0	0	0
人件費	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	2,014	2,014	0	0	1,673	0	0	0
玉	庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ų	支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ī	ī 債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	との他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般則	才源(税等)	0	0	98	68	0	0	87	0	0	0
所要人数	正規職員	0.00	0.00	0. 25	0. 25	0.00	0.00	0. 21	0.00	0.00	0.00
(人)	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳 令和2年度予算0円											

### 目標及び実績

<u> </u>	日保及U·天順							
	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	海外姉妹都市であるカナダリッチモンド市の生徒と交流		目標値		1	0	1	0
		回	実績値		1	0		
活動指標			達成度(%)	%	100%	0%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					
	外国人との交流により国際感覚を高める		目標値		1	0	1	0
		回	実績値		1	0		
成果指標			達成度(%)	%	100%	0%	%	%
指			目標値					
標			実績値					
			達成度(%)					

## 4 事業の評価

<u> </u>					
評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	0	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	0	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	0	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	0	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	0	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	0	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	0	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	0	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	0	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

<u> </u>	24	T (177 11 HVH)	· III			
事	充実					
事業内容の	現状維持			0		
容の	縮小					
方向性	廃止					
性		ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	訪問する生徒数と回数も適切と考えるので、この規模で続けることが妥当と考える。
見直し・改善内容	市立和歌山高等学校での滞在時間を増やし、生徒と触れ合えるイベント等を、企画し交流を高める工夫をしたい。